

環境経営レポート

令和6年4月～令和7年3月



 宮崎建設株式会社

令和7年5月12日作成

目 次

1. 環境経営方針	・・・	2
2. 組織概要	・・・	3
3. 実施体制	・・・	4
4. 環境経営目標(長期目標、環境経営計画)	・・・	5 ～ 6
5. 実績・評価	・・・	7 ～ 11
6. 環境関連法規制等遵守状況	・・・	12
7. 代表者による全体的評価と見直し	・・・	13
8. 地域環境への貢献	・・・	14

1. 環境経営方針

【企業理念】

我が社は、「自然環境を大切にする企業」として建設事業を営む。自然環境と住環境の保全を意識し、お客様の多種多様なご要望に応えられるような人材の育成と、技術の向上に努めてまいります。

【環境経営方針】

環境対策経営を実践し、環境負荷の低減、環境に配慮した活動に取り組み環境経営目標・活動経営計画の状況を確認・評価し、環境経営システムを継続的に改善します。

1. 省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進し、二酸化炭素の排出量、廃棄物の排出量、水利用の削減に努めます。建設リサイクル法による建設副産物の3Rにも取り組みます。
2. 建設工事による自然環境・住環境への影響を低減し、環境に配慮した事業展開に努めます。
3. 環境関連の法律を遵守し、安全安心第1の企業を目指します。
4. 全社員が経営環境方針を理解し、周知徹底するための必要な教育を計画的に行い、社員がいきいきと働ける職場環境整備を目指します。
5. 当社の環境経営方針を社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを積極的に行い、環境保護ボランティア活動等に積極的に参加をします。

平成22年12月1日制定
令和2年5月9日改定

浜松市西区雄踏町宇布見8991-9

宮崎建設株式会社
代表取締役 宮崎康弘

2. 組織概要

会 社 名	宮崎建設株式会社
代 表 者	代表取締役 宮崎康弘
資 本 金	2,000万円
前 年 度 売 上 (第56期)	5億2164万円 〈工事件数190件〉
会 社 経 歴	明治38年 8月 創業 昭和24年12月 静岡県知事登録 登録番号第582号 昭和43年10月 宮崎建設株式会社に組織変更 昭和49年 2月 静岡県知事許可(特-48) 第5200号 平成19年 4月 代表者が宮崎由成より宮崎康弘に変更 平成21年 3月 代表者が宮崎康弘より宮崎由成に変更 平成29年 8月 代表者が宮崎由成より宮崎康弘に変更

建設業の許可、 事業活動の内容	〈静岡県知事許可〉 有効期間 令和12年1月25日まで 特6-第5200号 土木、建築、とび・土工、鋼構造物、 舗装、しゅんせつ、塗装、造園、水道施設工事、解体工事 般6-第5200号 大工、屋根、内装仕上、 タイル・れんが・ブロック工事
--------------------	---

従 業 員 数	産業廃棄物収集運搬業 第02201037618号 (自社収集運搬分のみ) 有効期間 令和9年12月5日まで 17人
所 在 地	〒431-0102 静岡県浜松市中央区雄踏町宇布見8991-9 TEL : 053-592-0001 FAX : 053-592-6388

延 床 面 積	1,515.3㎡(事務所628.1㎡・倉庫887.2㎡)
---------	--------------------------------

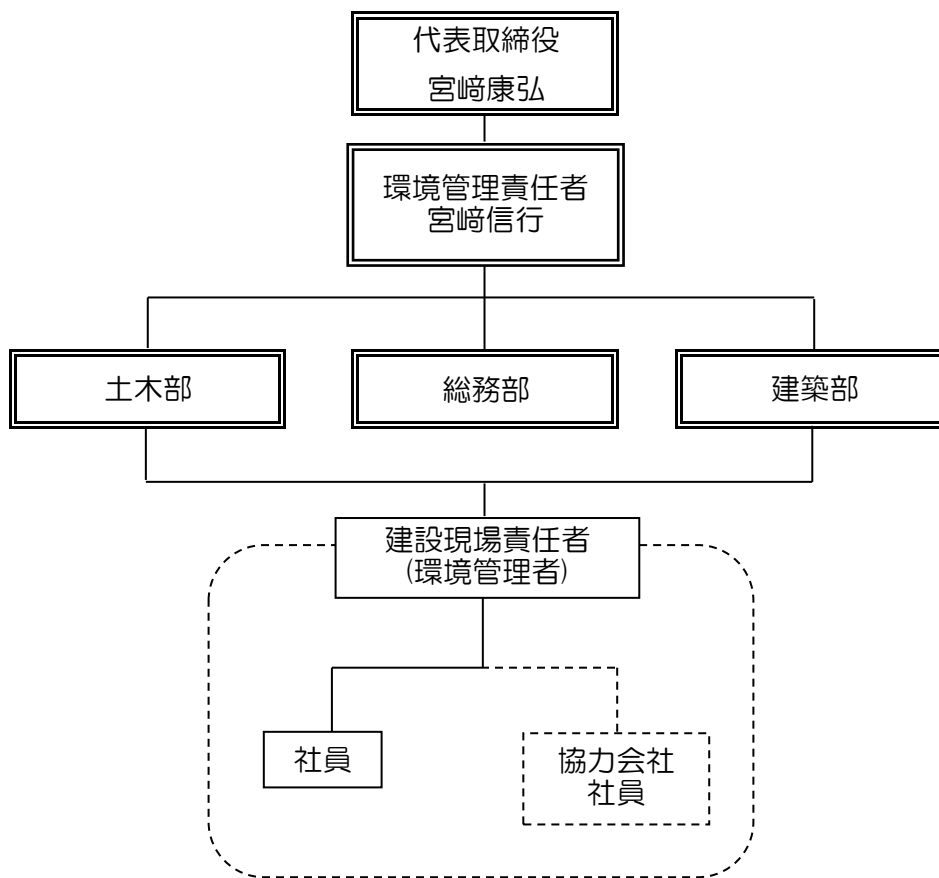
対 象 範 囲	全組織・全活動・全従業員を対象とする 対 象 組 織：本社 対象事業活動：建設業(土木工事業、建築工事業)
---------	---

〈環境保全関係の責任者及び担当者連絡先〉

環境管理責任者	宮崎 信行
担 当 者	藤田 真鈴
連 絡 先	TEL : 053-592-0001 FAX : 053-592-6388 mail : miyaken-kabu@green.ocn.ne.jp URL : http://www.miyaken-kk.jp/

3. 実施体制

組織図



< 各 責 任 者 及 び 実 施 事 項 >

責任者	実施事項
代表取締役	◇環境経営に関する方針を定め、それを誓約する。 ◇環境への取組の方向性を明示し、全従業員に周知する。 ◇環境管理責任者を指名する。 ◇資源(人材・資金・技術)を用意する。 ◇環境経営システムが有効に機能しているか、取組みは適切に実施されているか評価し、見直しをする。
環境管理責任者	◇システムの総責任者としての役割権限を他の責任にかかわらず持つ。 ◇具体的な環境への取組みに関する環境経営目標、環境経営計画を策定し、社員に周知する。 ◇環境経営目標の達成状況を確認し、必要に応じて是正処置や予防処置を指示する。 ◇各部門責任者に対して必要な計画、指示、指導等を行う。 ◇経営計画・経営実績を取りまとめ、代表者による見直し資料を作成する。
建設現場責任者 (環境管理者)	◇現場においては環境管理者の役割も果たし、必要な計画、指示、指導、教育、訓練を実施する。
社 員 協力会社社員	◇環境経営方針、環境目標を基本に定められた経営計画に従い活動に取り組む。 (但し、協力会社社員は認証登録の範囲外)

4. 環境経営目標

1) 長期環境経営目標値

目標値については、ベースを令和3年4月～令和5年3月の3年度の実績の平均値(一般廃棄物については令和5年度の数値)とし、今後3年間の目標を下表の通り策定した。(目標値は対実績値を示す。二酸化炭素総排出量、一般廃棄物、水使用量については3年間で約1%削減(1年間で0.3%)を目標として管理する。リサイクル率は0.1%、3年間で0.3%増加を目標として管理する。ガソリン、軽油は燃費向上(年間1%)、複合機の使用枚数削減(年間2%)を目標にする。

※灯油、液化石油ガス(LPG)に関して二酸化炭素排出量に対する割合が少ないため目標から削除することとしたが二酸化炭素総排出量には含む。

項目		管理単位	単位	令和3年度～令和5 年度の平均値	令和6年度 目標	令和7年度 目標	令和8年度 目標
二酸化炭素総排出量		CO ₂ 換算値	Kg-CO ₂	109,586	109,257	108,928	108,600
①電気	総使用量	kwh		17,869	17,815	17,762	17,708
	CO ₂ 換算値	Kg-CO ₂		8,202	8,177	8,153	8,128
②ガソリン	総使用量	L		10,914	10,881	10,849	10,816
	CO ₂ 換算値	Kg-CO ₂		25,321	25,244	25,170	25,093
③軽油	総使用量	L		29,415	29,327	29,239	29,150
	CO ₂ 換算値	Kg-CO ₂		75,891	75,664	75,437	75,207
車燃費 (ガソリン、軽油)		平均燃費	Km/L	11.48	11.59	11.71	11.83
廃 棄 物	①一般廃棄物の削減	総廃棄量	t	0.690	0.688	0.686	0.684
	②建設副産物リサイクル化推進	リサイクル率	%	95.76	95.86	95.95	96.05
複合機使用枚数削減		総使用枚数	枚	60,948	59,729	58,534	57,364
水使用量		総使用量	m ³	128	128	127	127
環境に 配慮した 自社の 取組	環境配慮工事の施工	取組件数	件	46	51	55	60
	地域貢献活動	環境ボランティア活動への参加。					

・購入電力係数は令和4年度中部電力(株)の0.459Kg-CO₂/kwhを使用

2) 環境経営計画

〈取組期間：令和6年4月～令和7年3月〉

目的	項目	実施 責任者	活動項目	スケジュール											
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
二酸化炭素の削減	電力	藤田	① 昼休み時間の消灯、不要な電気の消灯、トイレの使用時以外の消灯	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			② 残業及び夜間照明は必要最低限にする	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			③ 消費電力の少ない電気製品への移行	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			④ O A機器不使用時には電源を切る	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			⑤ 冷暖房温度設定の適正化			☆	☆	☆	☆		☆	☆	☆	☆	
	ガソリン・軽油	信行	① アイドリングストップを徹底する	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			② エコドライブの励行	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			③ 燃費管理表を作成し、乗る人のエコに対する意識を高める	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
廃棄物排出量の削減		藤田	① ゴミの分別を徹底し、リサイクルに努める	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			② 物品の購入に際しては、可能な限り詰替え可能な製品を選ぶ	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			③ 裏紙の活用	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			④ ミス印刷の防止(事前確認)する	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			⑤ 資料の保管はPDFを利用し、データとして保管する	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
水使用量の削減		藤田	① 水を出しっぱなしにしない等節水に努める	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			② 定期的に漏水の点検をする						☆						☆
環境に配慮した自社の取組	環境配慮工事	高柳西澤	① 現在の基準にクリアした建設機械の使用(低騒音・排出ガス対策型重機の使用)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			② エコ設計の積極的な提案(省エネ環境性能、ICT施工等の提案)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
			③ 環境に配慮した施工の実施(再生材料の活用や大気、水環境への配慮)	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
	地域貢献活動	信行	環境ボランティア活動への積極参加												
			浜名湖クリーン作戦(6月第1日曜日)			☆									
			草刈(環境美化運動)					☆							

5. 実績・評価

1) 令和6年4月～令和7年3月取組結果

評価結果◎:80%以下 ○:80%超～100% ×:100%超～

項目		管理単位	単位	令和6年度 目標	令和6年度 実績	対目標値比	評価 結果
二酸化炭素総排出量		CO2換算値	Kg-CO2	109,257	79,614	73%	○
①電気	総使用量	kwh	17,815	20,128	113%	×	
	CO2換算値	Kg-CO2	8,177	9,239			
②ガソリン	総使用量	L	10,881	10,720	99%	○	
	CO2換算値	Kg-CO2	25,244	24,869			
③軽油	総使用量	L	29,327	17,527	60%	◎	
	CO2換算値	Kg-CO2	75,664	45,220			
車燃費 (ガソリン、軽油)		平均燃費	Km/L	11.59	11.53	101%	×
廃 棄 物	①一般廃棄物の削減	総廃棄量	t	0.688	1.121	163%	×
	②建設副産物リサイクル化推進	リサイクル率	%	95.86	95.30	101%	×
複合機使用枚数削減		総使用枚数	枚	59,729	61,431	103%	×
水使用量		総使用量	m³	128	120	94%	○
環境に 配慮し た自社 の取組	環境配慮工事 の施工	取組件数	件	51	44	86%	×
	地域貢献活動	・令和6年6月2日(日)浜名湖の水をきれいにする会 浜名湖クリーン作戦に参加。 ・令和6年8月2日(金)浜松建設業協会 道路清掃・河川堤防の草刈(環境美化運動)に参加。 ・現場にての奉仕作業 4件					

※購入電力係数は令和4年度中部電力(株)の0.459Kg-CO₂/kwhを使用
二酸化炭素総排出量には灯油、液化石油ガス(LPG)分を含む

2) 取組結果の評価及び次年度の取組

総評	
二酸化炭素総排出量の合計値は109,257K g-CO₂に対し79,614K g-CO₂と目標の73%となった。 二酸化炭素総排出量で大きな数値を占めている特に現場での軽油の使用量は減少した。車の燃費は全体で微妙だが減少してしまった。 環境配慮工事の施工件数も数値を目標化したが無かった。	

評価結果◎:80%以下 ○:80%超～100% ×:100%超～

二酸化炭素排出量	①電気	目標17,815kwh→結果20,128kwh【対目標113%】	評価結果	令和7年度取組内容
	目標に対して電灯料、動力用(エアコン分含む)ともに仕事が忙しく残業したり、夏が暑かったので増加して合計で113%となってしまった。		×	電気料金もあがっているので節電を意識して使用料削減する。
	②ガソリン	目標10,881L→結果10,720L【対目標99%】	評価結果	令和7年度取組内容
	目標に対しては近くの現場が多く99%と減少した。昨年と比較すると現場分約30L増加、車分約335L減少した。		○	燃料価格も高騰しているので無理、無駄な走りをしないようにする。
	③軽油	目標29,327L→結果17,527L【対目標60%】	評価結果	令和7年度取組内容
	軽油使用量は対目標値60%と減少。ダンプ等の燃料使用は前年比8,848Lから7,594Lへと1,254Lと減少、現場分も水中ポンプを使用する工事等が減少したため16,248Lから9,932Lと6,316L減少した。		◎	仕事の内容によって左右される使用量、削減は二酸化炭素排出量、会社の経費削減する意味でも重要な項目。削減できるよう努力する。

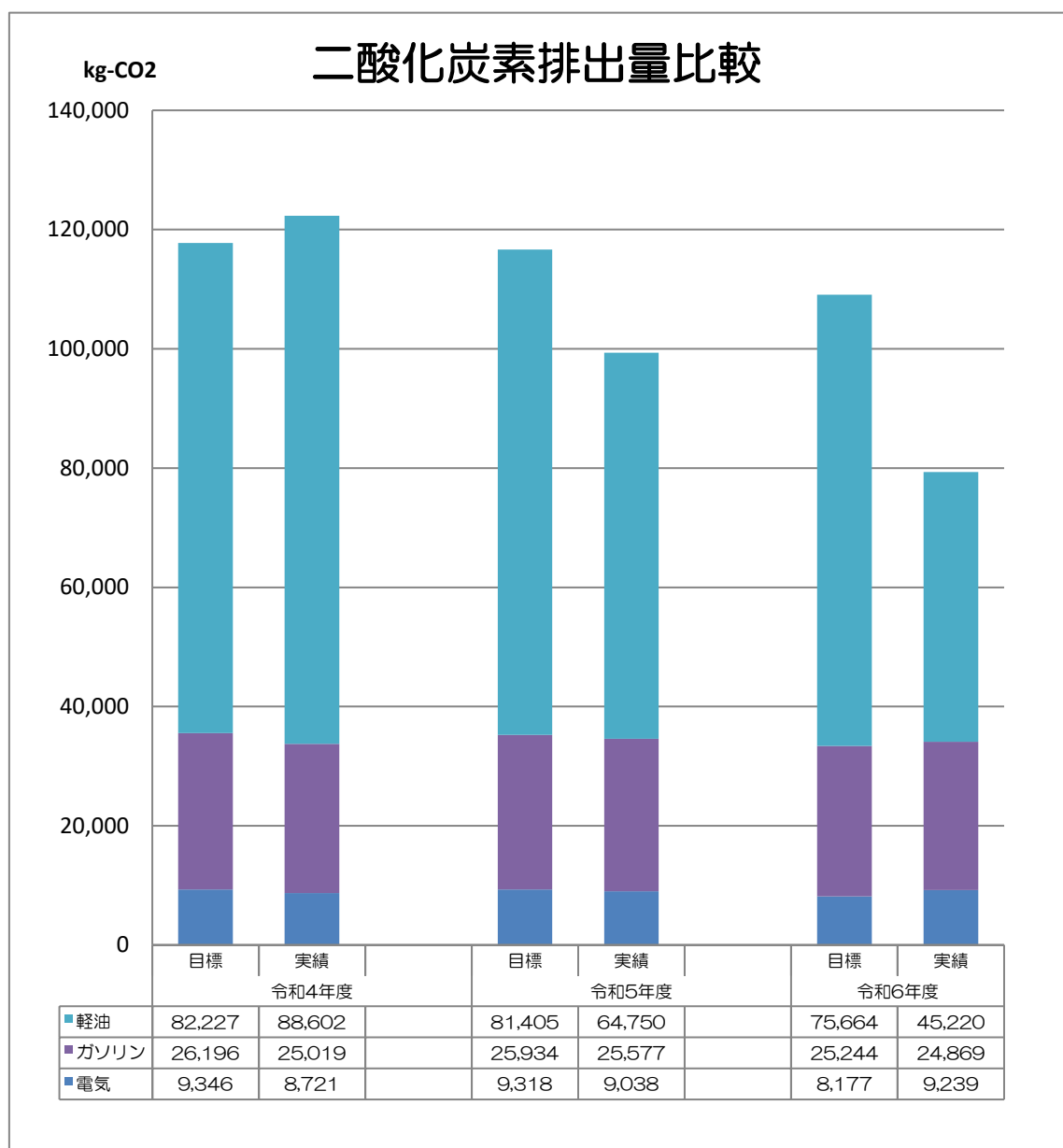
車燃費	目標11.59Km/L→結果11.53Km/L【対目標101%】	評価結果	令和7年度取組内容
車の燃費は目標に対して11.53Km/Lと目標に達しなかった。工事内容によってダンプの積み荷が多かったことが考えられる。		×	燃費向上できるような運転を心がける。

廃棄物	①一般廃棄物の削減	目標0.688t→結果1.121t【対目標163%】	評価結果	令和7年度取組内容
	一般廃棄物は対目標値163%と増加した。雑がみ、新聞、ダンボールの量は昨年度より増加。燃えるごみ、ペットボトル、ビン、缶は減少した。		×	飲み物等はマイボトルを持参し、ゴミがでないよう心がける。
	②建設副産物 リサイクル化推進	目標95.86%→結果95.30%【対目標101%】	評価結果	令和7年度取組内容
	再資源化率は対目標値99%となった。産業廃棄物の排出量は438.71tと前年度より707.6t減少した。		×	仕事の内容によって数字が変動するのは仕方がないが再資源化率が向上するようにする。

複合機使用枚数削減 目標59,729枚→結果61,431枚【対目標103%】	評価結果	令和7年度取組内容
複合機使用枚数は目標に対して103%と1,702枚増加した。	×	印刷もプレビューを確認して1枚におさまるよう工夫する。
水使用量 目標128㎡→結果120㎡【対目標94%】	評価結果	令和7年度取組内容
水使用量は目標に対して94%と8㎡減少した。	○	今後も節水を心がけ継続する。
環境配慮工事の施工 目標：51件→44件【対目標86%】	評価結果	令和7年度取組内容
再生材料の活用、環境配慮機器の使用、I C T施工、省エネ環境性能の向上を指標として数値のカウントを行ったが施工件数は目標に達しなかった。	×	今後も環境にやさしい工事を心がける。
地域貢献活動 目標：環境ボランティア活動への参加	評価結果	令和7年度取組内容
6月の浜名湖クリーン作戦、8月の道路愛護、現場での奉仕作業2件を実施できた。	○	環境ボランティア活動を参加継続する。

3) 環境経営目標と実績の年度別比較

〈目標値としたもののみ計上〉



3年間の二酸化炭素排出量の目標と実績の比較をしてみた。令和6年度は軽油の使用量が少なかったため、令和4年度の排出量と比較すると約36%減になっていた。ガソリンは3年間通して数値がほぼ横這い。グラフの色でみるとわかるように軽油とガソリンの占める割合が大きいのでそこが減少すると二酸化炭素排出量の削減につながる。

体調管理に注意しつつ、エアコンの温度調整や未使用時の電気消灯を徹底。エアコン使用する季節前に掃除をする。タイヤの空気圧を確認してエコドライブに努める。小さいことかも知れないが、エコを意識してCO2排出量ゼロを目指す取り組みをしていかないとはいけない。

4) 環境経営計画の実施状況と評価、次年度の取組

目的	項目	実施責任者	活動項目	評価		今後(次年度)の取組内容
				評価	内容	
二酸化炭素の削減	電力	藤田	① 昼休み時間の消灯、不要な電気の消灯、トイレの使用時以外の消灯	○	実施された	継続実施
			② 残業及び夜間照明は必要最低限にする	○	実施された	継続実施
			③ 消費電力の少ない電気製品への移行	○	実施された	継続実施
			④ O A機器不使用時には電源を切る	△	一部実施 使用しない電源プラグを抜く	継続実施
			⑤ 冷暖房温度設定の適正化	○	実施された	継続実施
	ガソリン・軽油	信行	① アイドリングストップを徹底する	○	実施された	継続実施
			② エコドライブの励行	△	一部実施 忘れ物をして戻って来ないようにする	継続実施
			③ 燃費管理表を作成し、乗る人のエコに対する意識を高める	○	実施された	継続実施
廃棄物排出量の削減	藤田	藤田	① ゴミの分別を徹底し、リサイクルに努める	○	実施された	継続実施
			② 物品の購入に際しては、可能な限り詰替え可能な製品を選ぶ	○	実施された	継続実施
			③ 裏紙の活用	○	実施された	継続実施
			④ ミス印刷の防止(事前確認)する	○	実施された	継続実施
			⑤ 資料の保管はPDFを利用し、データとして保管する	○	実施された	継続実施
水使用量の削減	藤田	藤田	① 水を出しっぱなしにしない等節水に努める	○	実施された	継続実施
			② 定期的に漏水の点検をする	○	実施された	継続実施
環境に配慮した自社の取組	環境配慮工事	高柳西澤	① 現在の基準にクリアした建設機械の使用(低騒音・排出ガス対策型重機の使用)	○	実施された	継続実施
			② エコ設計の積極的な提案(省エネ環境性能、ICT施工等の提案)	△	一部実施	継続実施
			③ 環境に配慮した施工の実施(再生材料の活用や大気、水環境への配慮)	△	一部実施	継続実施
	地域貢献活動	信行	環境ボランティア活動への積極参加			
			浜名湖クリーン作戦(6月第1日曜日)	○	実施された	継続実施
			草刈(環境美化運動)	○	実施された	継続実施

6. 環境関連法規制等遵守状況

法規・条例・規制	条項	内 容	確認内容ほか	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条第6項	廃棄物処分業者との委託契約	契約(書)の締結	○
	第12条の2第8項	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	有資格者を選任	○
	第12条の3	マニフェストの管理	A票、B2票、D票、E票の返却	○
	第12条の3第2項	マニフェストの保管	5年間	○
	第12条の3第3項	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
	第12条の3第7項	管理票交付等状況報告書	年1回6月末までに提出	○
	第12条第9項	多量排出事業者(年間1,000 t以上)実績及び処理計画書の報告	6月末までに提出	○
	第16条	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則	第8条の2	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
	第22条	運搬実績報告書	年1回6月末までに提出	○
浜松市・静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第10条	産業廃棄物処理委託先の実地確認	毎年1回以上の確認	○
建設機械に関する技術指針(排出ガス対策型建設機械指定制度)	第6章	排気ガス対策型建設機械の使用		○
フロン排出抑制法	第16条	簡易点検の実施		○
建設リサイクル法	第10条	分別解体の励行と再資源化	コンから、アスファルトから木くず、鉄くず	○
大気汚染防止法	第18条	解体工事等に関する調査及び報告、作業基準の遵守	建築物の解体工事(床面積の合計80㎡以上)、改修工事(請負金額税込100万円以上)、工作物の解体・改修工事(請負金額税込100万円以上)	○
石綿障害予防規制	第3・5条			○
家電リサイクル法	第6条	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫他	期間中該当なし
小型家電リサイクル法	第2条の1	OA機器の収集	パソコン・モニタ他	○
自動車リサイクル法	第73条	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○
騒音・振動規制法 環境基本条例 (浜松市)	第6条	規制基準(騒音・振動)の遵守		○
	第14条	特定建設作業を伴う建設工事、施工時	作業開始月7日前までに届出	期間中該当なし

【環境関連法規制等の遵守及び違反の有無】

環境関連法規制等の遵守活動を行い、その評価を行った結果、環境関連法規制等への違反はありませんでした。

【指摘・訴訟の有無】

環境関連法規制等の遵守活動を通して関係当局よりの違反の指摘はありません。

確 認 日	確 認 者
令和7年4月30日	宮崎 信行

7. 代表者による全体的評価と見直し

Co2の排出量は大幅に削減できたが、要因は受注工事の内容によるものが大きく、これは建設業の特徴が大きく影響しているが、エコアクション21で培ってきた事が社内に浸透し評価ができるところまで来ていると思う。今後も低燃費車の入れ替えなど、ハード面の整備を進めCo2排出量の少ない会社環境の整備を進めていきたいと思っている。

例年通り浜名湖クリーン作戦と建設業協会主催の環境美化運動には参加でき、地域とのコミュニケーションを深めることができた。

今後も、地域環境への配慮を怠らず、地球環境を意識していく中で経営バランスを保ちながら満足いく成果が得られるよう努力していきたいと思います。

見直し項目		変更の 必要性	『有』の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・ ☒ 無	
2	環境経営目標	有・ ☒ 無	
3	環境経営計画	有・ ☒ 無	
4	環境経営システム	有・ ☒ 無	

令和7年4月30日

宮崎建設株式会社
代表取締役 宮崎 康弘

8. 地域環境への貢献

令和6年6月2日(日)
浜名湖の水をきれいにする会
浜名湖クリーン作戦



令和6年8月2日(金)
浜松建設業協会
道路清掃・河川堤防の草刈
(環境美化運動)

